

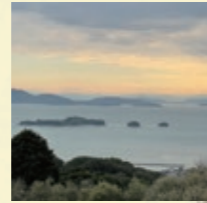
# 子育てを楽しむならせとうち

こどもひろば  
推進事業  
-基本理念-

外遊びを楽しむまち。瀬戸内市

-基本方針-

- 「あんしん」人がいるから安心する、楽しくなる
- 「あったか」市民、市全体で子どもを見守る
- 「よくあそぶ」もっと自由に遊べる場をつくらう
- 「みんながつながる」子どもを真ん中に全世代がつながる



瀬戸内の多島美



瀬戸内市は、株式会社ボーネルンドと「瀬戸内市こどもひろばパートナー協定」を締結しています。



瀬戸内市マスコットキャラクター  
セツちゃん

<市の主要施策に位置付け>

「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」  
～そんな子育て世代の声から生まれた取組です。

きっかけ

子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい（公園など）



充実してほしい  
子育て支援は？



老化した遊具



市の主な子育て支援策  
13のコトに掲載

実現したコト

- 国の交付金を活用 内閣府地方創生推進交付金（令和2～4年度）  
事業名：「子どもと過ごす瀬戸内市ライフプロジェクト」  
瀬戸内市の交付金事業が、少子化対策の取組事例として**全国で紹介**される（令和4年）  
→内閣官房内閣府総合サイト 少子化対策に資する分析や好事例等の各種情報
- 全国自治体初！**遊び環境充実に向けて、株式会社ボーネルンドとパートナー協定を締結
- 他さまざまな民間事業者と連携  
こどもひろば開催サポートの委託：社会福祉法人 瀬戸内市社会福祉協議会  
安全運転講習協力：生活協同組合 おかやまコープ  
企業の敷地でこどもひろばの開催・社員ボランティアの参加協力
- 移動遊び場「プレーカー」を導入・運行の開始
- 地域児童遊園地遊具等整備事業補助金の拡充

実績

令和2年度からの累計  
こどもひろば  
参加者数  
約7,800人  
約250回開催  
(令和4年9月末時点)



第3次瀬戸内市総合計画  
(令和3年9月)

これから！

- 計画策定  
みんなでつくる瀬戸内市こどもひろば基本計画  
<連携・整合>  
第3次瀬戸内市総合計画（令和3年9月）  
第2次瀬戸内市教育大綱（令和3年4月）
- 全天候型の遊び場「こどもパーク」の整備  
市民ワークショップの実施（令和4年度）
- 人づくり・財源の確保

瀬戸内市ホームページ  
(こども家庭課)



こどもひろばを  
寄附で応援！

瀬戸内市ふるさと納税  
ポータルサイト



こどもひろば  
Facebook



こどもひろば  
Instagram

